

義務教育課だより 2月号

「突然の休校や学校行事の中止・規模縮小などがあつたけれど、かけがえのない日常を無駄にせず、今できることを精一杯やりたい。」

これは、ある新聞に掲載された中学生の投稿です。昨年2月末の一斉臨時休業以降、子供を取り巻く状況は一変しました。ことごとくに制約の掛かる生活が続いています。そのような中でも、前向きな考えをもって頑張っている子どもたちに倣って、私たち大人も、刻々と変わる現状に適切に対応しつつ、先を見据えた取組を進めたいものです。

今回は、「ICTを活用した実践事例」と「えひめっこピカイチコンテスト 作品展示」の2つの話題を取り上げます。

1 ICTを活用した実践事例について

現在、県内各地で「ICT教育指導教員養成研修（オンライン研修）」が行われています。Web 会議システムに慣れていない方からは、大いに勉強になった、授業活用へのイメージができた、と好評を博しています。一方、使い慣れている方からは、1コマ2時間が長く感じたとの声も聞かれます。「そこそこできる者」を「かなりできる者」に引き上げるのではなく、「そこそこできる者」を大勢育成するというコンセプトをご理解のうえ、本研修2コマ、計4時間を有効に使っていただきたいと思います。

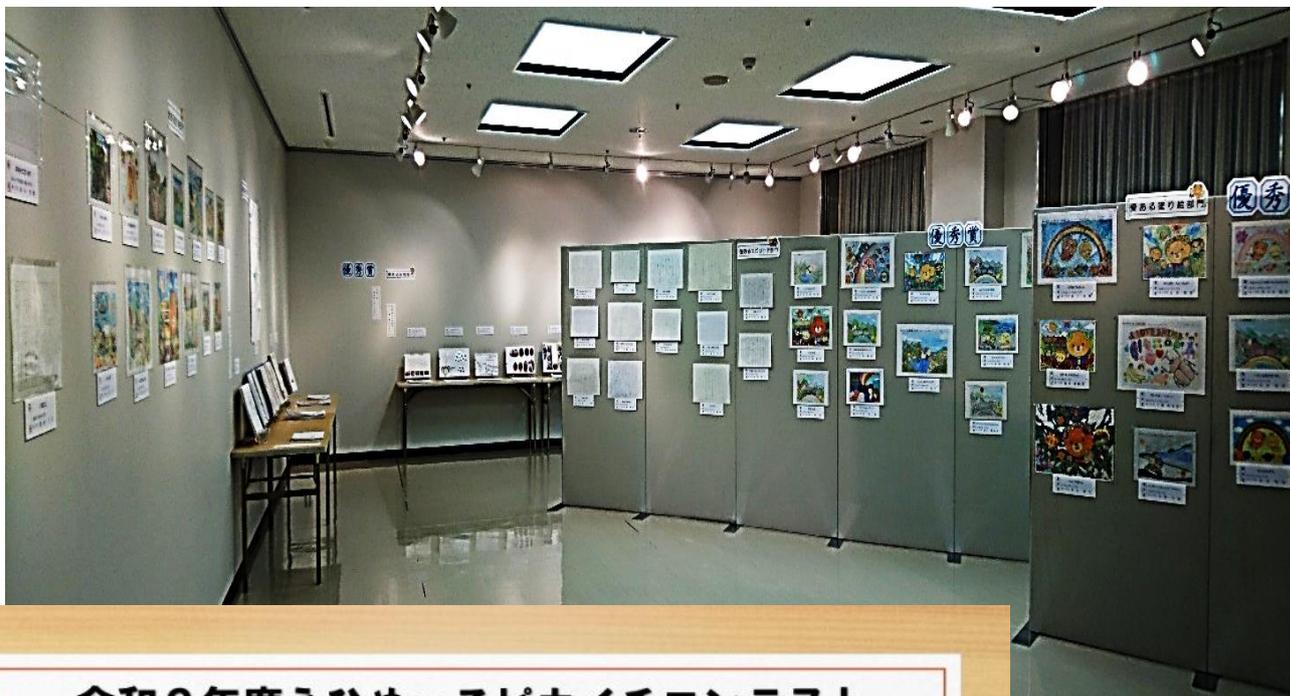
さて、本サイトには今、県内各小中学校から、ICTを活用した実践事例が次々と投稿されています。昨年11月にオンラインで開催した学力向上推進主任研修会の事後課題として、1月末を目途に掲載を依頼したものです。1月21日現在で、309事例が集まっています。

各校の投稿が完了した暁には、小中別、教科等別など、いくつかのカテゴリーに分類しますので、一人一人のニーズに応じて積極的に閲覧、活用していただきたいと思います。

ここで、多岐にわたる情報をコンパクトにまとめていただいた、西条市立小松小学校の実践事例を紹介します。事例の一つに、理科の実験の様子を撮影し、動画サイトにアップするとともに、その動画のQRコードをワークシートに掲載するというものがあります。QRコードの添付によって、これまでであれば、授

やスポーツ、音楽など、様々なジャンルの個性溢れる研究が寄せられました。どの作品からも、自分の興味があることを追究しようと、休業中にたっぷり時間を掛けて、楽しく取り組んだ様子が伝わってきました。

現在、愛媛県生涯学習センターにおいて、特選及び優秀作品（全94点）の作品展を開催中です。ぜひ、ご覧ください。



令和2年度えひめっこピカイチコンテスト

とくせん

ゆうしゅうしょう

さくひん

てんじ

特選・優秀賞 作品展示

展示期間 令和3年1月16日(土)～1月31日(日)

開館時間 9:00 ～ 17:00

※ただし、最終日(1/31)は16:00まで

休館日 1月18日(月)、25日(月)

展示場所 愛媛県生涯学習センター 2階 展示室

(松山市上野甲650)



特選 21作品、優秀賞 73作品
展示するけん

